

令和8年度「古典探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
古典探究		必修	2	理型
教科書 副教材等	探求 古典探究 古文編（桐原書店）探求 古典探究 漢文編（桐原書店） 新しい古典文法（桐原書店）漢文必携（桐原書店）重要古文単語 315（桐原書店）			

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習概要

文化としての日本語、また、日本語を実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な生活、さらに、古代から現代までの各時代にわたって、表現し、受容されてきた多様な日本語の芸術や芸能などを学んでいきます。小説・詩・短歌俳句・古文・漢文等の文学や、古典に分類される分野を総合的に学ぶことになります。

3 学習方法

(1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に参加することが期待されています。

(2) 家庭学習

授業で扱う教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読するのとしのないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、古文教材や漢文教材については、地道な予習が必要です。古語辞典や漢和辞典を調べることに慣れ、文法的知識を身に付け、きちんと解釈する力を付けましょう。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考・判断・表現 (②)」、「主体的に学習に取り組む態度 (③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②、③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
一 学 期	【源氏物語】 ・ 葵上と物の怪 【堤中納言物語】 ・ 虫めづる姫君 【文章】 ・ 漁父辞 【俊頼髓脳】 ・ 和歌の効用 【無名抄】 ・ 俊成自賛歌のこと 【伝奇物語】 ・ 人面桃花	・ 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。また、「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深める。 ・ 短編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。また、「堤中納言物語」の内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深める。 ・ 名文と呼ばれる文章を読んで、作者のものの見方や考え方を理解する。また、それぞれの文章の文体や表現上の特色に注目して、優れた表現を味わう。 ・ 歌論・俳論を読んで、古文における評論の形態や表現形式に触れる。また、それぞれの作者の論点や切り口などの特色を理解する。 ・ 唐代の伝奇小説を読んで、物語の展開と時間の経過に注意ながら内容を的確に捉える。また、作品の優れた表現を味わう。	中間考查 期末考查
二 学 期	【大鏡】 ・ 菅原道真の左遷 【無名草子】 ・ 小野小町 【史伝Ⅱ】 ・ 廉頗と藺相如 (三) 刎頸の交はり 【枕草子】 ・ 二月のつごもりごろに ・ 大納言殿参りたまひて 【思想】 ・ 老子 ・ 莊子 ・ 韓非子 ・ 墨子	・ 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を話の展開に即して読み取る。 ・ 物語評論を読んで、古文における評論の多様な形態や表現形式に触れる。また、作者の論点や切り口などの特色を理解する。 ・ 紀伝体の「史記」を読んで、史伝というジャンルへの理解を深める。また、長文の漢文を正確に訓読し、語句や句形を踏まえて現代語訳する力を養う。 ・ 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解する。 ・ 道家・法家・墨家の文章を読んで、それぞれの思想の概要と諸子百家における位置づけを理解する。また、それぞれの思想が現代においてどのような意義を持つかを考察する。さらに、日本人の書いた漢文を読み、中国の思想からどのような影響を受けたかを考察する。	学力テスト 中間考查 期末考查
三 学 期	【古今和歌集仮名序】 ・ やまと歌は 【詩】 ・ 長恨歌	・ 歌論を読んで、古文における評論の形態や表現形式に触れる。また、それぞれの作者の論点や切り口などの特色を理解する。 ・ 長文の古体詩を読んで、作者の人生観・社会観を深く理解する。また、漢詩が表現する世界の広がりや比喻表現・対句などの優れた表現を味わう。	